

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
公共政策論（暮らしと政治）		NLA21_002	選択	2	2	前期
担当教員		研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
新津 修		教員控室	kango	Teams、メールで随時質問等受付		
授 業 の 目 的 ・ 概 要	＜目的＞社会や暮らしの仕組みを決定している公共政策（政治）について学び、誰がどこで決定しているかを理解することにより、政治への関与の姿勢や対処方策を身に付けることを目的とする。 ＜概要＞現代日本の公共政策（政治・行政）の現状、決定過程、課題等について学習する。事前に講義の要点を示した資料を配布し、最新の資料（パワーポイント）により講義を行う。講義終了後、課題についてのレポートを作成することにより理解を深める。					
授 業 形 式 ・ 方 法	☒対面授業 ☐遠隔授業(双方向型) ☐遠隔授業(自主学習) ☒講義 ☐実習 ☒演習 ☐実技 ☐PBL ☐グループワーク ☐その他（ ☐反転授業 ☐プレゼンテーション ☐実習・フィールドワーク					
学 習 上 の 助 言	政治や政策の新たな動きについては、インターネット検索で容易に閲覧することができるので可能な限りこうした情報に目を通しておくことが望ましい。					
教 科 書	事前に講義に関連する資料や要点を示した資料をTeamsにより配布する。					
参 考 書	特になし					
外 部 教 材	特になし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	国民の暮らしを決定している公共政策や政治について理解し説明できる。				HSU(2),NS(1)	
②	国や地方自治体の機構や行政の仕組みについて理解し説明できる。				HSU(2),NS(1)	
③	公共政策や政治の決定過程について理解し説明できる。				HSU(2),NS(1)	
④	現代日本の公共政策・政治の課題について理解し説明できる。				HSU(2),NS(1)	
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業方法		学習課題・学習時間（時間）	
1	暮らしと公共政策・政治の関係について学習する		講義・演習（レポート作成）		・ 事前に配布する資料 で予習する。 ・ 課題についてレポートを作成し提出する。 ・ Teamsでフィードバックされたレポートについて振り返りを行う。	4
2	暮らしを決める法律と予算について学習する		講義・演習（レポート作成）			4
3	国会と地方議会について学習する		講義・演習（レポート作成）			4
4	選挙と政党について学習する		講義・演習（レポート作成）			4
5	国と地方の行政組織について学習する		講義・演習（レポート作成）			4
6	行政改革と市町村合併について学習する		講義・演習（レポート作成）			4
7	国と地方の役割分担について学習する		講義・演習（レポート作成）			4
8	暮らしと税金について学習する（１）		講義・演習（レポート作成）			4
9	暮らしと税金について学習する（２）		講義・演習（レポート作成）			4
10	国と地方の財政について学習する		講義・演習（レポート作成）			4
11	暮らしと医療について学習する		講義・演習（レポート作成）			4
12	老後の暮らしについて学習する		講義・演習（レポート作成）			4
13	教育政策について学習する		講義・演習（レポート作成）			4
14	安全安心な暮らしについて学習する		講義・演習（レポート作成）			4
15	現代日本の課題と政治（政策）について学習する		講義・演習（レポート作成）			4
試	なし					

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

総合評価割合（％）		達成度評価					
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合 力 指 標	知識・技術力	0	100	0	0	0	100
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	0	30	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	30	0	0	0	30
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
問題を発見・解決する力		0	30	0	0	0	30
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
レポート	①	✓	課題レポート全体について評価を行う。2回目以降の指定する課題レポートについては採点し、評価の対象とする。				課題レポートについては毎回 Teams によりフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
備 考							
他 担 当 教 員		なし					
教 員 の 実 務 経 験		山梨県庁企画部・総務部等で 37 年間（うち 13 年間 市町村行政関係・選挙管理事務）の実務経験を有する。					
実践的授業の内容		地方自治体での勤務経験を活かして、様々な政策決定過程の実例を交えながら講義を進める。 写真やグラフ、国・県・市町村の公表資料などを使用して分かりやすい授業を目指す。 「今週の暮らしと政治」と題して直近のトピックについても毎週紹介し課題を共有する。					
そ の 他		・対面方式の授業を基本とする。 ・講義の進捗状況や新たな政治・政策の登場などの社会情勢によってシラバスを変更することがある。					